

令和6年度 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業

おおすみくん家 通学合宿

1 趣 旨 集団宿泊生活や生活体験活動を行いながら学校生活を送ることを通して、望ましい生活習慣や学習習慣を身につける。また、読書活動を通して豊かな情操を養う。

2 主 催 国立大隅青少年自然の家
(運営・企画：鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会)

3 後 援 鹿児島県教育委員会

4 期 間 令和7年2月3日(月)～2月21日(金) 計3週(全5回) 各回2泊3日

グループ	期 間	参加校
Aグループ	2月3日(月)～5日(水)	鹿屋小、笠野原小、田崎小、高隈小
Bグループ	2月5日(水)～7日(金)	吾平小、南小、鶴峰小、東原小、花岡小、下名小
Cグループ	2月12日(水)～14日(金)	野里小、大始良小、寿小
Dグループ	2月17日(月)～19日(水)	寿北小、西原小
Eグループ	2月19日(水)～21日(金)	西原台小、垂水小、水之上小

※ 鹿屋市・垂水市内の小学3～6年生(学校までの所要時間約30分圏内の小学校)

5 参加者 申込：222名 参加：193名

グループ	参加校(参加者数)
Aグループ	鹿屋小(20)、笠野原小(12)、田崎小(14)、高隈小(1)
Bグループ	吾平小(11)、南小(5)、鶴峰小(1)、東原小(6)、花岡小(6)、下名小(7)
Cグループ	野里小(13)、大始良小(11)、寿小(12)
Dグループ	寿北小(26)、西原小(21)
Eグループ	西原台小(18)、垂水小(5)、水之上小(4)

6 講 師 絵本専門士 吉田 美奈子 氏
国立大隅青少年自然の家職員
研修指導員(鹿屋体育大学学生)3名

7 日 程

1日目		2日目		3日目	
	保護者により 自然の家まで送る	6:00	起床・身支度・清掃	6:00	起床・身支度・清掃
		6:45	朝食	6:45	朝食
		7:30	自然の家バスで登校	7:30	自然の家バスで登校
		8:00	(学校生活)	8:00	(学校生活)
17:00	受付				
17:15	出合いのつどい				
18:00	オリエンテーション	16:15	自然の家バスで下校	放課後	学校から
18:30	夕食	ころ	※学校の校時表通り		そのまま帰宅
19:00	宿泊室入室	17:00	学習		
19:15	入浴	18:00	夕食		
		19:00	入浴		
20:00	学習、夢の教室	20:00	絵本専門士による 読み聞かせ		
21:30	翌日の準備	21:30	翌日の準備		
22:00	就寝	22:00	就寝		

8 事業運営上の配慮

- 1日目のオリエンテーションで、本事業の趣旨を参加児童全員に説明し、基本的な生活習慣の定着に向けて「おすみくん家通学合宿7つの約束」の意識化を図った。
- 配慮を要する児童について、事前に保護者へ聴き取りを行い、対応策について連絡した。
- 計画では1月から2月にかけて実施予定であったが、1月の一時休館に伴い、期間を2月の3週間に短縮し、また、応募校及び参加人数を制限した。

9 参加者の感想

- ◇ いつもは他の学校の人と一緒に過ごすことがないけれど、通学合宿に参加して友達が増えていい機会になりました。みんなと声を掛け合い、協力して楽しく過ごすことができました。
- ◇ 違う学校の人へ自分から勇気を出して話しかければ、思ったよりすぐ仲良くなることができました。これからの生活の中で知らない人と話すときがあったら勇気を出して話しかけたいです。
- ◇ 初めての通学合宿で緊張していたけど、5・6年のお姉ちゃんが優しく声をかけてくれて安心しました。私も班长さんみたいになりたいです。
- ◇ 毎日、夜ふかしをして生活リズムがくずれていたけど、通学合宿に参加して、早寝・早起きをしたり、しっかりと食事をとったりできました。決まった時間の中で自分勝手な行動をしないで暮らすことが自分の中でいい経験になりました。
- ◇ 家ではお母さんに何でもやってもらうことが多かったけど、通学合宿で身の回りのことは自分でできるようになったから、家でも続けていきたい。

10 成 果

- 合宿期間中、他団体で利用していた日本経済大学ヨット部顧問である今村公彦先生（リオ五輪出場）の協力を得て、オリンピックと子どもたちがふれあう「夢の教室」を実施することができた。
- 異なる学校・異なる学年での集団生活を通じて、リーダーシップやフォローシップを自然と育むことができた。
- 鹿児島県内に在籍する「絵本専門士」のスキル発揮の場や機会を提供することができた。
- 3年生も応募可能としたので、5年生時で行う集団宿泊学習の事前学習と位置付けることができた。

